

研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター血液内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年9月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一
福島県立医科大学会津医療センター血液内科学講座
角田 三郎

【研究課題名】

80歳以上の高齢多発性骨髄腫患者に対する Bortezomib-Dexamethasone (BD) 療法の有用性と安全性についての後方視的検討

【研究期間】

2022年9月～2023年8月

【研究の意義・目的】

研究の目的

骨髄腫治療の標準的な化学療法である Bortezomib-Dexamethasone (BD) 療法を実施した80歳以上の患者さんを対象に有効性と安全性を検証します。

研究の意義

多発性骨髄腫の治療は新規薬剤により高い有効性が得られるようになってきました。そして、導入療法に続く自家末梢血幹細胞移植により高い治療奏効率が示されています。

しかしながら、高齢、心肺機能の低下、合併症のため移植適応とならない患者さんに対する最適な治療法は、まだ決定されていません。ボルテゾミブ・デキサメタゾン (BD) 療法は有効性が認められ、ガイドライン上も推奨されているレジメンですが、末梢神経障害や間質性肺炎等注意すべき副作用が多い事が知られています。移植非適応の高齢者にとって、有効性があり、副作用が軽微であり、長期間治療を継続する事ができる、用量及び治療間隔を調整した modified BD 療法が適切と考えられます。

modified BD 療法を受けた患者さんの診療録を後方視的に調査し、有効性及び安全性を検証することを研究の目的としました。

【研究の対象となる方】

2013年5月1日から2019年3月31日の間に、血液内科にて多発性骨髄腫と診療され、BD 療法を開始した80歳以上の症例

【研究の方法】

電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
年齢、性別、診療所見、臨床病期(ステージ)、癌の組織型・性質、血液・画像検査データ、治療経過などの診療情報のみ

【研究組織】

研究責任者

(所属) 会津医療センター血液内科学講座 (職) 教授 (氏名) 角田 三郎

研究分担者

(所属) 会津医療センター血液内科学講座 (職) 主任薬剤技師 (氏名) 鈴木 学

(所属) 会津医療センター血液内科学講座 (職) 助手 (氏名) 池田 翔平

(所属) 会津医療センター血液内科学講座 (職) 助教 (氏名) 助川 真純

(所属) 会津医療センター血液内科学講座 (職) 教授

(氏名) 大田 雅嗣

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢前田 21 番地 2
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター
血液内科学講座 担当 角田 三郎
電話: 024-75-2100
E-mail: stsunoda@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢前田 21 番地 2
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター
血液内科学講座 担当 鈴木 学
電話: 024-75-2100
E-mail: s-manabu@fmu.ac.jp